

PRESS RELEASE

2018年9月19日
株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、外部脅威を防御し、内部からの情報漏えいを抑止・可視化する クラウド型サービス「IIJセキュアエンドポイントサービス」を提供開始

株式会社インターネットイニシアティブ（IIJ、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝 栄二郎、コード番号：3774 東証第一部）は、企業ネットワーク内のパソコン、サーバといったエンドポイントにおけるセキュリティ対策強化として、「アンチウイルス」、「IT 資産管理」の機能をクラウド型で提供する「IIJ セキュアエンドポイントサービス」を、2018年10月1日より開始いたします。

企業に対する脅威の多くは、業務で利用する Web やメールの通信を介して内部ネットワークへ潜入し、活動を行います。そのため、実際に感染が発生した端末内部におけるプログラムの実行やファイル操作の様子を把握し、脅威の影響を測るための情報を得ることが重要となってきました。また昨今、暗号化通信の利用増加に伴い、ゲートウェイ型のセキュリティ対策では検出できない脅威も存在し、それらに対応するためには暗号を復号化して検査する専用の仕組みを追加導入する必要があります。このような状況において、解決の手がかりが多く残されているのは実際の現場であり、かつ効果的な対策を施すことができるエンドポイントに再び注目が集まっています。

今般開始する IIJ セキュアエンドポイントサービスでは、検知ロジックの異なるアンチウイルスを併用することで、未知・既知を問わずマルウェアを実行前に検知・隔離できることに加え、従業員の不注意や意識不足による情報流出や意図的な情報持ち出しなど内部不正を発見することができます。また、IT 資産管理が取得したインシデント検知前後の操作ログから、特定の Web サイトの閲覧や標的型メールの開封履歴など、インシデント発生の原因、プロセスまでを追跡、特定する機能を一元的に提供し、マルウェアの流入経路や影響範囲、内部不正の状況を可視化することで、再発防止策を検討・実施する際のお客様の負荷を大幅に軽減することが可能です。

本サービスの特徴は以下のとおりです。

アンチウイルスと IT 資産管理をクラウドサービスで提供

外部脅威を防御し、内部からの情報漏えいを抑止するための対策として、「アンチウイルス」と「IT 資産管理」をひとつのクラウドサービスで提供します。お客様は、既存の対策状況や課題に合わせて、必要な機能を選択し、アセットレスに導入することが可能です。

独自ダッシュボードでエンドポイントのセキュリティ状況を可視化

マルウェアの感染有無や、検知したマルウェアの情報を IIJ 独自ダッシュボード上でご確認いただけます。ダッシュボードでは、提供する 3 つの製品の情報がまとめて表示され、セキュリティ状況を一元的に可視化することができるため、膨大な数のエンドポイントの状況を迅速に把握し、必要な対策を講じることが可能になります。

VPN 機器を置かずに閉域接続を実現

お客様専用ネットワークを IIJ バックボーン内に延伸する「IIJ GIO プライベートバックボーンサービス」を組み合わせご利用いただくことで、お客様ネットワーク内に新たに VPN 機器を設置することなく、閉域網接続が実現できます。ネットワークの構成変更や機器メンテナンスの手間など、余分な負荷をかけることなく安全なエンドポイント管理が可能になります。

今後は、各種 IIJ サービスの膨大なログやイベント情報を収集、分析する「情報分析基盤」と相互に連携し、脅威情報の共有、検知精度向上をすすめるとともに、IIJ C-SOC サービスと連携した監視・インシデント対応支援サービスも提供してまいります。

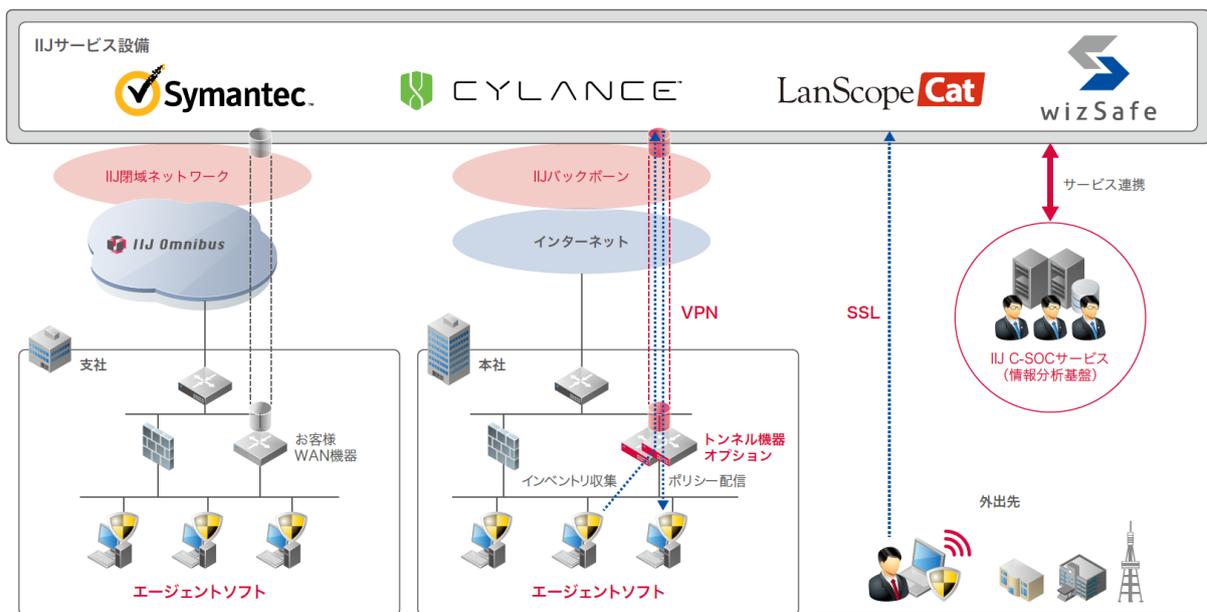
■ サービスメニュー

基本メニュー	詳細
アンチウイルス Symantec	Symantec 社の「Symantec Endpoint Protection (SEP)」を提供します。シグネチャレスでの脆弱性保護や高度な機械学習など、新しい先端技術とコアセキュリティ機能の組み合わせにより、優れた多層的保護を単一の軽量 SEP エージェントで実現します。
アンチウイルス Cylance	CYLANCE 社の次世代アンチウイルス製品「CylancePROTECT」を提供します。マルウェアの構造をモデル化して学習・検知する機械学習の技術を活用することで、既知・未知のマルウェアを実行前に検知、防御します。
IT 資産管理	MOTEX 社の IT 資産管理製品「LanScope Cat」を提供します。エージェントがインストールされたエンドポイントの情報を自動で収集し、状況を把握できるうえ、ライセンス管理やファイル配布、操作ログ管理など、エンドポイントを適切な状態に管理することが可能です。Web 閲覧やメール開封履歴のログ収集、私物の USB デバイス利用制御などにより内部不正を防止するとともに、CylancePROTECT と連携することで、侵入したマルウェアの証跡を管理画面から追跡することが可能です。

基本メニューに加えて、サービス設備とお客様ネットワークを接続するための「トンネル接続オプション」や現地で作業を代行する「現地作業オプション」、検知したマルウェアの検体を調査する「マルウェア検体解析オプション」などを用意しています。

サービス詳細は <https://www.ij.ad.jp/biz/endpoint/> をご覧ください。

■ サービスイメージ



■ サービス費用

導入する機能、端末台数に応じた個別見積もりです。

IIJ は今後も、「安全をあたりまえに」をコンセプトとするセキュリティ事業ブランド「wizSafe (ウィズセーフ)」のもと、お客様が脅威を意識せず、インターネットを安全に利用できる社会の実現を目指してまいります。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 増田、荒井

TEL : 03-5205-6310 FAX : 03-5205-6377

E-mail : press@ij.ad.jp <https://www.ij.ad.jp/>

※ 本プレスリリースに記載されている社名、サービス名などは、各社の商標あるいは登録商標です。